

ICT 機器利活用の実践例から校内で可能な取組のイメージをもつ

ICT 機器を利活用した授業実践に向けて（第2回／全2回）

◆ 主な流れ（参考時間 20 分間）

1 導入【約2分】

- ・校内で ICT 機器を積極的に利活用している先生方を紹介する。

2 実践例の発表【約10分】

- ・校内で積極的に ICT 機器を利活用している教員に、1人5分程度の時間で実践例を発表してもらう。（発表者は2名程度）
- ・状況によっては、発表後、簡単に質疑応答の時間をとる。

3 討議【約6分】

- ・3～4名単位でグループをつくり、ワークシートを用いながら実践例の発表や自身の取組などについてグループワークを行う。
- ・個々の先生方の取組についての情報交換を行う。

4 まとめ【約3分】

- ・グループワークで話し合った内容をグループ毎に発表する。

リーダーからの話（例）

本日は、授業において ICT 機器を日常的に利活用している先生方に

①ICT 教材の作成について

（教材作成にかかる時間やどのような工夫をしているかなど）

②ICT 機器を利活用することによる児童・生徒へのメリットや成果について

③ICT 機器を利活用することによる児童・生徒へのデメリットについて

④校内の機器環境の使い勝手や改善すべきところについて

などの点を踏まえ、実践例をお話ししてもらいます。なお、2名の先生の発表後、質疑応答を経てワークシートを用いての話し合いをしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

